

キッズ・モニターアンケートの概要 「民生委員について」

アンケートの実施結果は以下のとおりでした。
キッズ・モニターのみなさん、ご協力ありがとうございました。

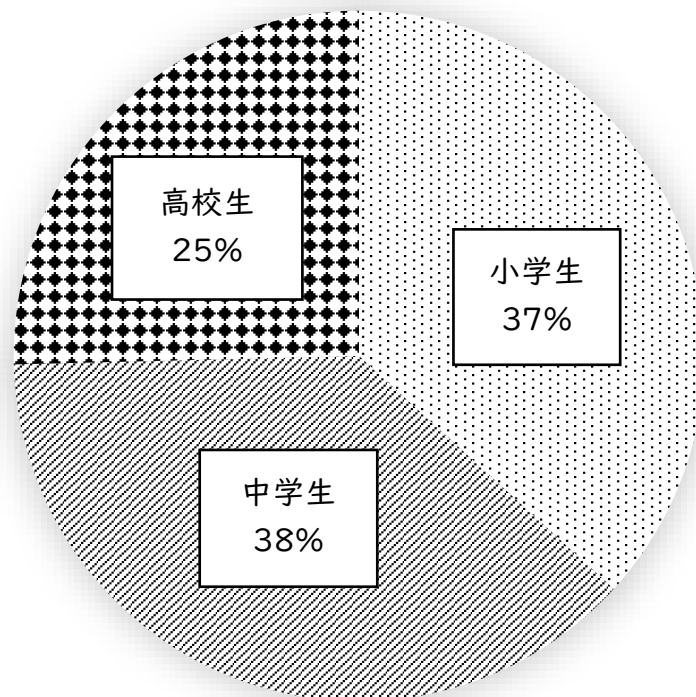
概要

1. 実施期間 令和4年9月16日(金)～令和4年10月3日(月)
2. 回答者数 193人
3. 回答率 34.6%(193人/558人)
4. 実施方法 インターネットによるモニター調査
5. 担当課 子ども・福祉部 地域福祉課

アンケート結果概要

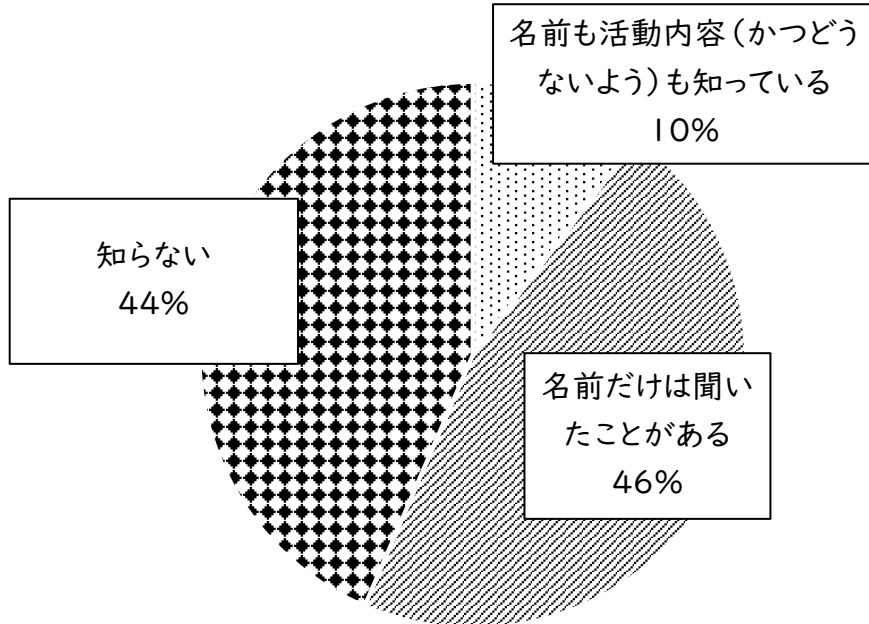
Q1 あなたの年代はどれですか。

今回答えていただいた方の年代は、表のようになりました。



Q2 あなたは「民生委員」を知っていますか。

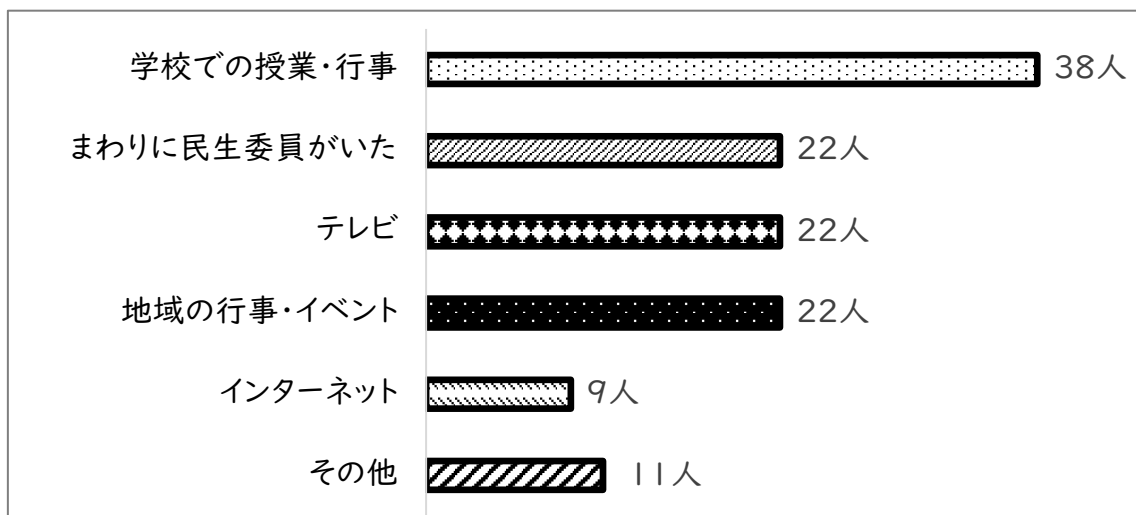
もっとも多い回答は、「名前だけは聞いたことがある」の46%でした。「名前も活動内容(かつどうないよう)も知っている」人の割合は10%でした。



Q3 Q2で「名前も活動内容(かつどうないよう)も知っている」または「名前だけは聞いたことがある」と回答した人にお聞きします。「民生委員」を知ったきっかけは何ですか。【複数回答】

「学校での授業・行事」が38人と、もっとも多く、次に「地域の行事・イベント」、「テレビ」、「まわりに民生委員がいた」が22人となっています。

学校との連携に加え、9人が回答した「インターネット」を活用した周知についても、今後充実させていく必要があるのではと考えさせられる結果でした。



Q4 Q2で「名前も活動内容(かつどうないよう)も知っている」と回答した人にお聞きします。「民生委員」がどのような活動をしているか、知っていることを教えてください。【自由回答】

主に次のような回答がありました。

～高齢者関係～

- ・お年寄りの世話をする
- ・ひとり暮らしのお年寄りの訪問、お弁当を時々配布
- ・高齢者の訪問
- ・お年寄りの話を聞く
- ・ひとり暮らしのお年寄りの家に訪問していた
- ・地域に住んでいる一人暮らしの高齢者の自宅訪問を行い、1人1人の住民のことを把握するとともに、安否確認を実施している

～子育て支援関係～

- ・学校や保育所を訪問する
- ・赤ちゃんが生まれたときに訪問してくれる

～地域の見守り・相談関係～

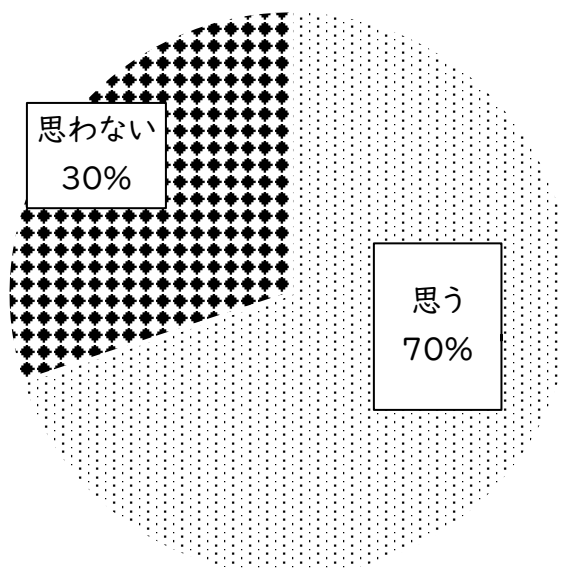
- ・地域と市をつなぐ、地域の困っている人にアドバイスしたり、話を聞いて解決の手助けをする(特に忙しいのは高齢者の応援)
- ・困っている人がいないか確認する
- ・困っている人の話を聞く
- ・困っている人を助ける
- ・地域の人との交流、支援
- ・地域の小中学生の見守り
- ・地域住民から相談を受け、問題が解決できるように助言を行う。
また介護サービスや行政のことについて情報提供する
- ・地域だけでは改善できないような問題が発生した際は行政機関などへの問題提起や要望を行う
- ・住民の相談にのったり、援助等をする

～その他～

- ・犯罪をしたが更生しようとしている人の手助けをする。またはその人を認めることを周知する。

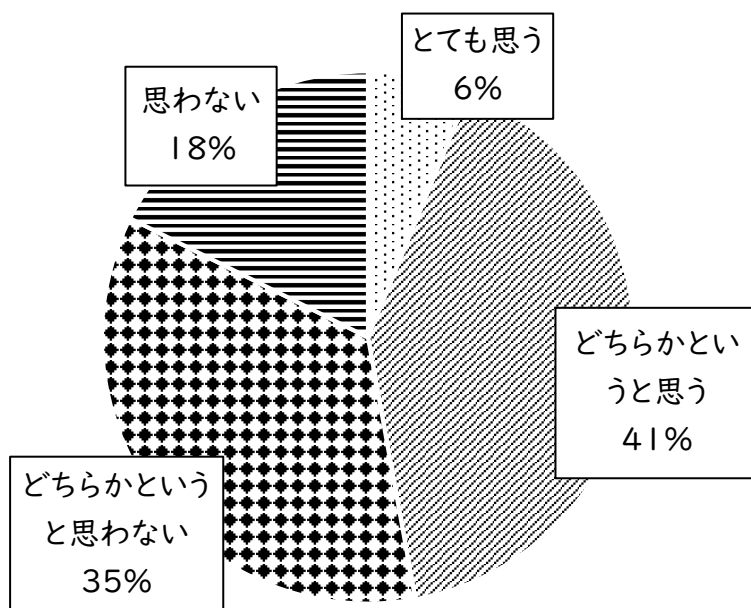
Q5 あなたは、「民生委員」のように、地域で困っている人がいたら話を聞いたり、相談にのったりしたいと思いますか。

70%の人が「思う」と回答しました。



Q6 あなたは将来(しょうらい)、機会(きかい)があれば、「民生委員」として活動してみたいと思いますか。

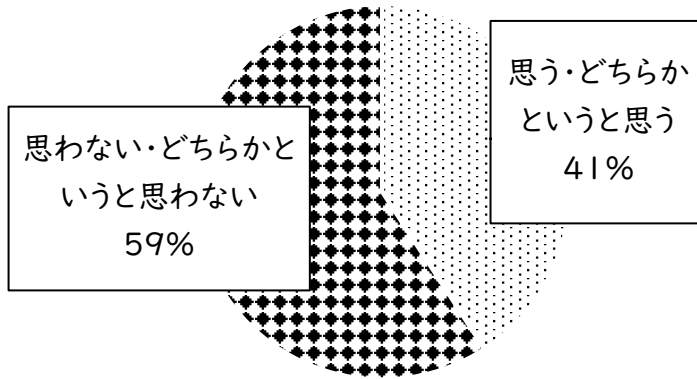
「とても思う」、「どちらかというと思う」の合計が47%、「どちらかというと思わない」、「思わない」の合計が53%と、「民生委員」として活動してみたいと思う人と思わない人の割合はほぼ半々という結果になりました。



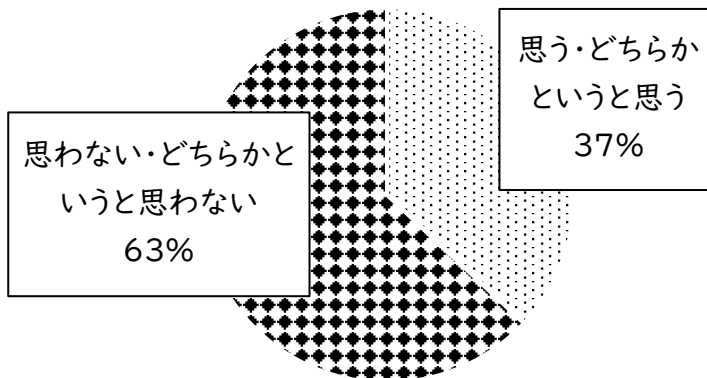
～年代別～

年代別でみると、高校生・中学生では「思う」、「どちらかという思う」と回答した人の割合は40%前後にとどまったのに対し、小学生では62%に達しました。

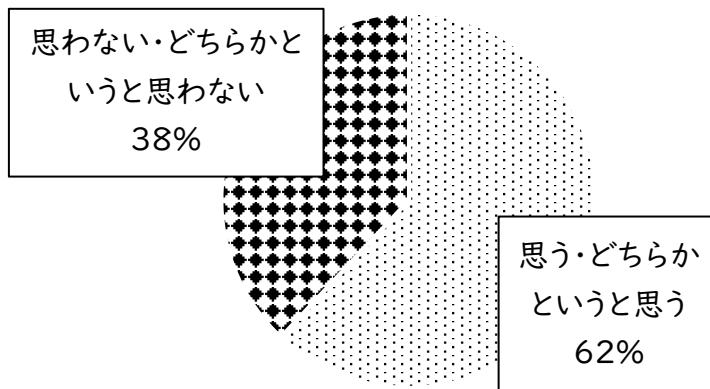
高校生



中学生



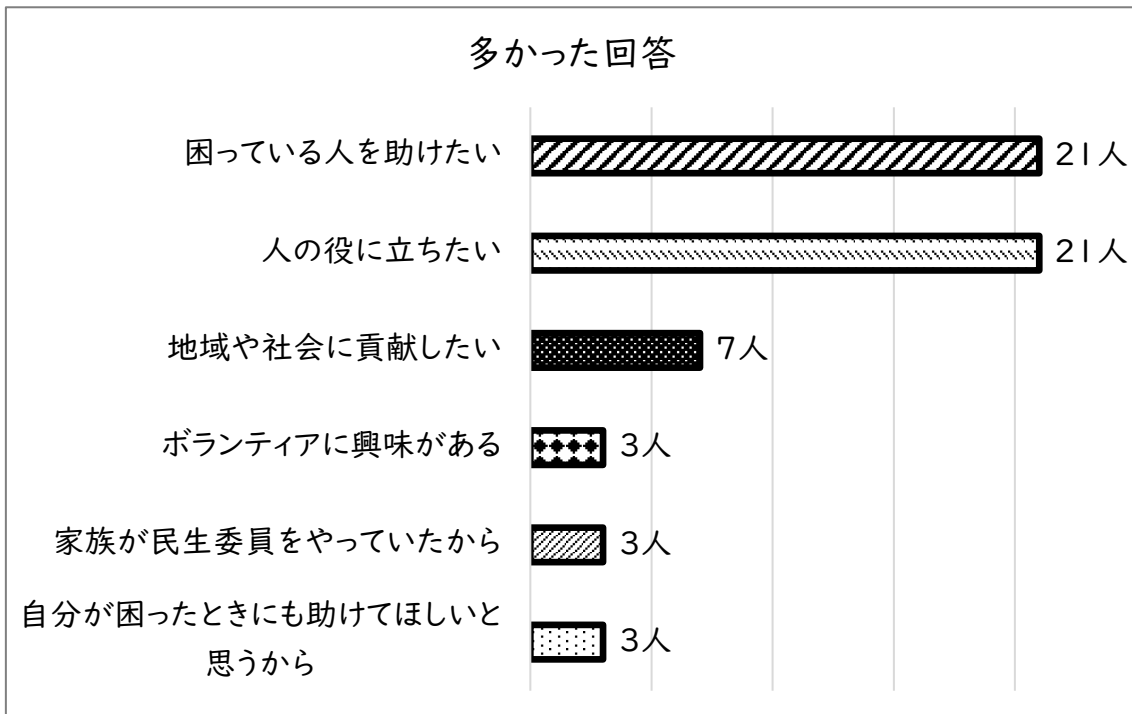
小学生



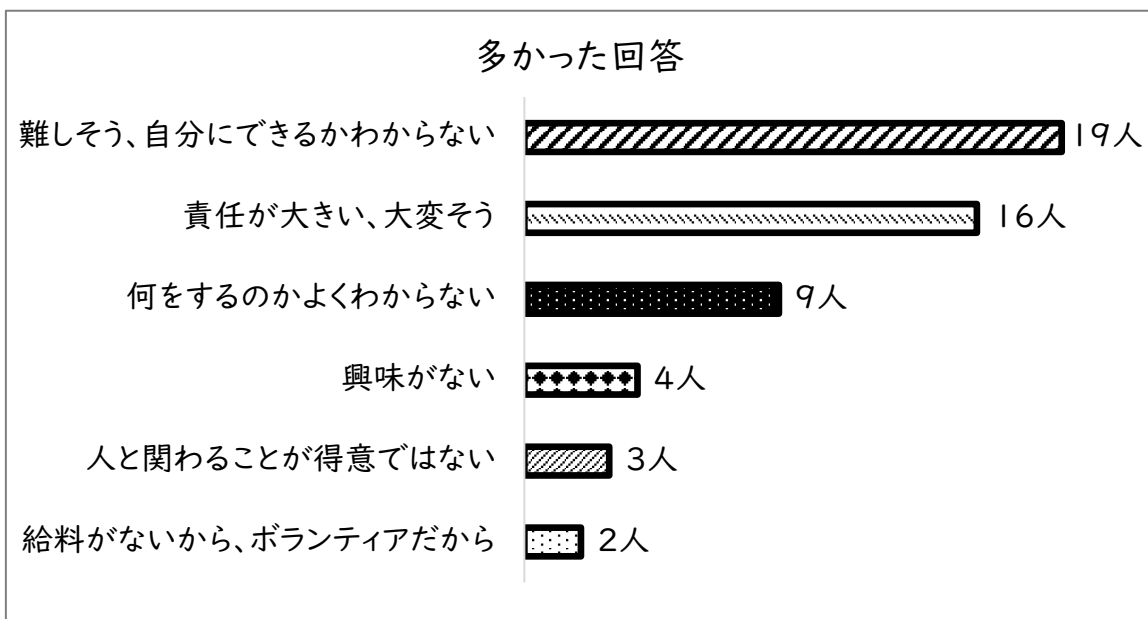
Q7 Q6であなたがそう答えた理由を教えてください。【自由回答】

回答内容を類型化したところ、多かった回答は次のとおりでした。

① 思う・どちらかというと思う



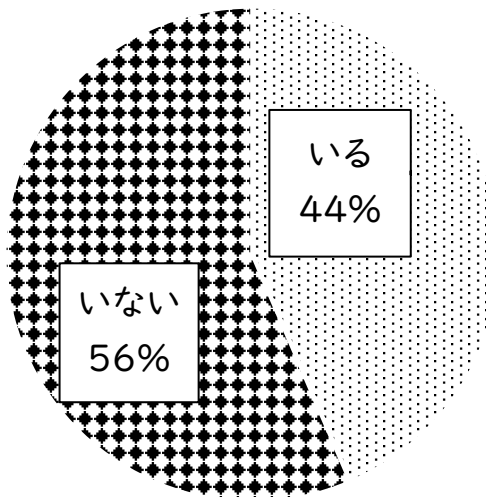
② 思わない・どちらかというと思わない



Q8 あなたの周りには、家族や友人、学校の先生以外で、困ったことを相談できる人はいますか。

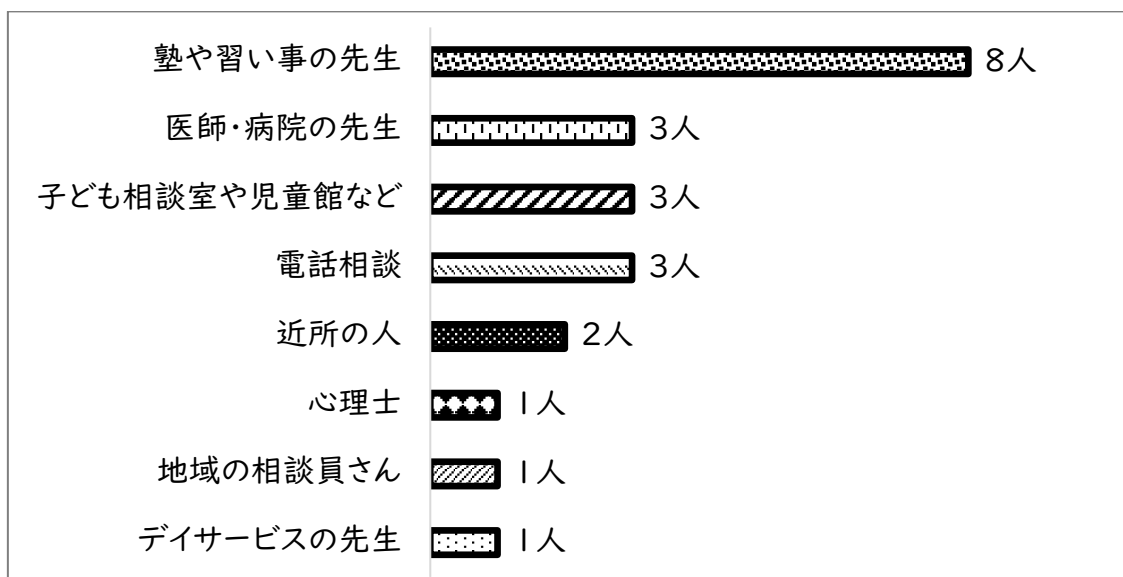
「いない」と回答した人の割合(56%)が、「いる」と回答した人の割合(44%)をやや上回る結果となりました。

※「いる」と回答した人の多くは、Q9でその相談相手として「家族、友人、学校の先生」と回答しており、厳密に「家族、友人、学校の先生」以外に相談相手がいると確認できた人の割合は全体の10%でした。



Q9 Q8で「いる」と回答した人にお聞きします。
それは誰(だれ)ですか。【自由回答】

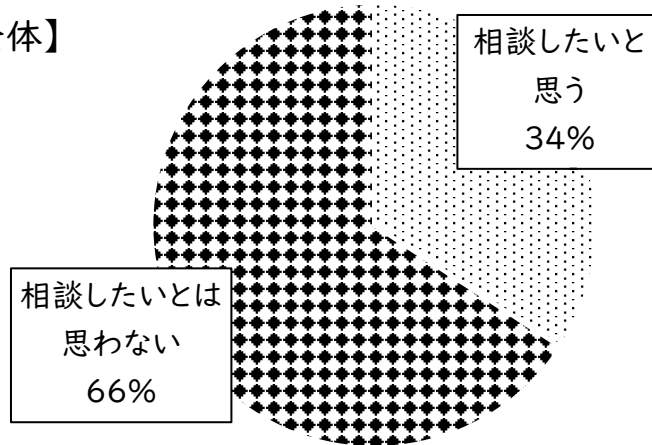
最も多かった回答は、「塾や習い事の先生」(8人)でした。「近所の人」と回答したのは2人だけで、地域や隣近所の大人とのつながりの希薄さがわかる結果となりました。



Q10 将来、あなたが生活をするうえで困りごとや心配ごとができた場合、「民生委員」に相談してみたいと思いますか。

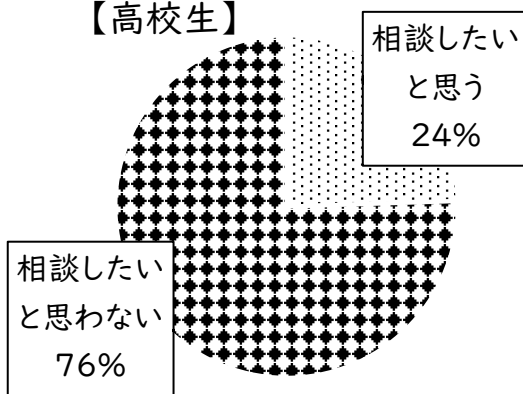
「相談してみたいと思う」と回答した人の割合は34%でした。

【全体】

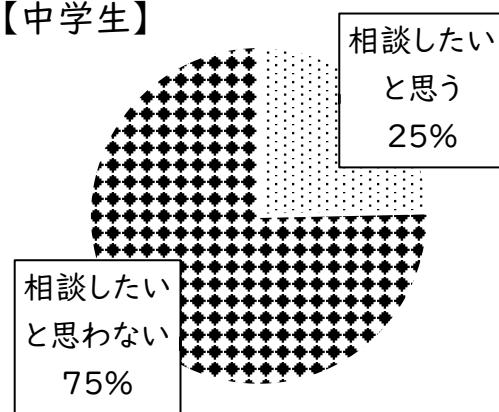


※年代別

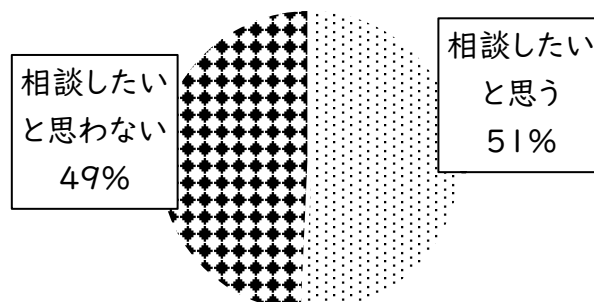
【高校生】



【中学生】



【小学生】



Q11 Q10であなたがそう答えた理由を教えてください。【自由回答】

「相談したいと思う」と回答した人の主な理由は、以下のとおりでした。

年代	理由
高校生	まず相談してみることが大事だと思うから
	民生委員の存在を知ったから
	年配の人や若い人などのいろんな意見が聞けそうだから
	家族や友人に相談できそうにないことを、聞いてくれる人がいたら相談したいと思うから
	色々な人の意見を聞きたいです
	家族や友人でないからこそ相談できることもあると思うから
	親身になって話を聞いてくれそうだから
中学生	自分の困っていることを解決するためのことを優しく教えてくれそうだから
	悩みを解決してくれそうだから
	いいアドバイスをもらえそうだから
	自分が知らない地域のことを知っていると思うから
	しっかり話を聞いてくれそうだから
	その時にまわりに相談できる人がいなければと思う
	優しそう
	相談したら解決の手助けをしてくれそうだから
	一人だから相談する人がいないから
小学生	家族や知人などの他に相談できる人がいると安心できるかなと思います
	知らない人だから話せることもあると思うから
	なんかいいこと言ってくれそうだから
	困り事などを自分や家族だけで悩み解決しないので相談して解決できたらいいなと思う
	相談する事で安心できそうだと感じたから
	地域の人に助けてもらえると心強いから
	相談できたらすこしは楽になるとおもうから
	話を聞いてくれる人がいると安心するからです

「相談したいとは思わない」と回答した人の主な理由は、以下のとおりでした。「民生委員のことをよく知らないから」、「自分のことを知らない人には相談しにくい」、「まずは家族や友人など身近な人に相談したい」といった回答が多く見られました。

年代	理由
高校生	民生委員についてよく知らないから
	知らない人に言いにくい
	まずは家族や友だちなど身近な人に相談したい
	相談したい事がない
	民生委員の方との信頼関係が築けないと、困りごとや心配事の相談は簡単にできないからです
	その人が信用できるか、わからないから
	知らない人に自分のことを話すのに少し躊躇いがあるから
	相談方法がわからないから
	誰だかわからない。そもそもそのような委員がいることも知らなかった
	ボランティアで行ってくれているため、なるべく負担をかけたくないから
	誰かに話されてしまいそうだから
中学生	認知度が低いから
	相談する内容がない
	あまり知らない人に相談をするのは心配だからです
	まだ民生委員が身近にいないのでそう思わない
	自分の事をよく知らない人に相談するのは不安だから
	どのように相談していいかわからない
	まずは家族に相談したいから
小学生	困ったことがないから分からない
	民生委員に頼らなくても相談出来る人達が居るから
	よく知らない人だから
	お母さんや家族、友達に聞いてもらえるから
	普段どこにいるのかわからないから
	情報がもれるのがいやだから

